

2021年5月21日

関係各位

## 役員人事等及び第31期決算のお知らせ

株式会社 TVQ九州放送

TVQ九州放送は、5月21日の取締役会におきまして、別紙のとおり役員人事を内定、また第31期（2020年4月1日～2021年3月31日）の決算案につきましても別紙のとおり承認しましたのでお知らせいたします。

役員人事は、基本的には6月18日付で行いますが、7月1日付でも一部行います。なお、役員人事に関しては、6月18日開催の第31回定時株主総会ならびにその後の取締役会で正式に決定する予定です。

何卒よろしくお取り計らい下さいますよう、お願い申し上げます。

### 【お問い合わせ先】

人事関係	総務人事部長	安田 潔史 (092 - 262 - 0022)
決算関係	経理部長	丸田 慎介 (092 - 262 - 0027)

## 人事・機構改革

(6月18日付 役員人事)

※下線は変更箇所

新 担 務 ・ 役 職	氏 名	現 担 務 ・ 役 職	
取締役会長	たなか ふみなり 田中 文成	代表取締役会長	(再任)
代表取締役社長	ひらおか けい 平岡 啓	代表取締役社長	(再任)
専務取締役 制作、報道スポーツ、放送審議室担当、北九州本社代表、労務担当補佐、報道スポーツ局長	かたみ ふみあき 傍示 文昭	役員待遇 報道スポーツ局長	(新任)
常務取締役 編成、総務・労務、コンプライアンス担当	てらだ たかし 寺田 玄	常務取締役 総務・労務、コンプライアンス担当	(再任・担務変更)
常務取締役 営業、事業、ネットワーク、技術、東京支社、大阪支社担当	うえやま よしゆき 植山 義幸	常務取締役 営業、事業、ネットワーク、東京支社、大阪支社担当	(再任・担務変更)
常務取締役 経営企画、経理、新規事業、関連事業担当、編成担当補佐、メディア戦略室長	やなぎさわ ゆたか 柳沢 豊	取締役 経営企画、経理、関連事業担当、メディア戦略室長	(昇任・担務変更)
取締役(非常勤) 〔株式会社西日本シティ銀行 代表取締役会長〕	くぼた いさお 久保田 勇夫	取締役(非常勤) 〔株式会社西日本シティ銀行 代表取締役会長〕	(再任)
取締役(非常勤) 〔九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長執行役員〕	からいけ こうじ 唐池 恒二	取締役(非常勤) 〔九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長執行役員〕	(再任)
取締役(非常勤) 〔西日本鉄道株式会社 代表取締役会長・取締役会議長〕	くらとみ すみお 倉富 純男	取締役(非常勤) 〔西日本鉄道株式会社 代表取締役会長・取締役会議長〕	(再任)
取締役(非常勤) 〔株式会社ホークスタウン 代表取締役社長〕	いかわ えいじ 井川 英治	取締役(非常勤) 〔株式会社ホークスタウン 代表取締役社長〕	(再任)
取締役(非常勤) 〔株式会社西日本新聞社 代表取締役社長〕	しばた けんや 柴田 建哉	取締役(非常勤) 〔株式会社西日本新聞社 代表取締役社長〕	(再任)
取締役(非常勤) 〔九州電力株式会社 代表取締役会長〕	うりう みちあき 瓜生 道明	九州電力株式会社 代表取締役会長	(新任)
取締役(非常勤) 〔株式会社日本経済新聞社 代表取締役会長〕	おかだ なおとし 岡田 直敏	株式会社日本経済新聞社 代表取締役会長	(新任)
取締役(非常勤) 〔株式会社日本経済新聞社 常務執行役員 西部支社代表〕	あさみ あきひこ 浅見 昭彦	取締役(非常勤) 〔株式会社日本経済新聞社 常務執行役員 西部支社代表〕	(再任)
監査役	ながした けいぞう 長下 圭三	監査役	
監査役(非常勤) 〔西部瓦斯株式会社 代表取締役会長〕	さけみ としお 酒見 俊夫	監査役(非常勤) 〔西部瓦斯株式会社 代表取締役会長〕	
監査役(非常勤) 〔株式会社西日本新聞社 監査役〕	とおや こうじ 遠矢 浩司	監査役(非常勤) 〔株式会社西日本新聞社 監査役〕	

## (6月18日付 退任予定取締役)

現	氏名
専務取締役	こじま あきら 児嶋 昭
常務取締役	むらた ふみのり 村田 文教
取締役(非常勤)	きた つねお 喜多 恒雄 〔株式会社日本経済新聞社 顧問〕
取締役(非常勤)	ぬき まさよし 貫 正義 〔九州電力株式会社 相談役〕

## (6月18日付 執行役員人事)

発令事項	氏名	現役職	
執行役員 新規事業本部長(局長相当職)(理事)兼株式会社TVQ九州放送ネクスト取締役	きのした やすひさ 木下 康央	執行役員 新規事業本部長(局長相当職)(理事)兼株式会社TVQ九州放送ネクスト取締役	(再任)
執行役員 東京支社長(局長相当職)兼業務部長(理事)	ばば たつお 馬場 達夫	執行役員 東京支社長(局長相当職)兼業務部長(理事)	(再任)
執行役員 営業局長兼事業局長(理事)	りきたけ しろう 力武 史郎	営業局長兼事業局長(副理事)	(新任)

## (7月1日付 組織・機構改革)

- ①事業局をビジネス開発局に改組する。ビジネス開発局に事業部とダイレクトメディアビジネス部を置く。
- ②事業局企画事業部と文化事業部を統合し、ビジネス開発局事業部とする。
- ③営業局ダイレクトメディアビジネス部をビジネス開発局に移管する。
- ④編成局にデジタル編成部を新設し、メディア戦略室の業務を移管する。  
これに伴い、メディア戦略室を廃止する。
- ⑤経営企画室にDX推進チームを新設する。

## (7月1日付 役員担務の変更)

新担務・役職	氏名	現担務・役職
常務取締役 営業、ビジネス開発、ネットワーク、技術、東京支社、大阪支社担当	うえやま よしゆき 植山 義幸	常務取締役 営業、事業、ネットワーク、技術、東京支社、大阪支社担当

## (7月1日付 役員人事)

発令事項	氏名	現役職
メディア戦略室長委嘱を解く	やなぎざわ ゆたか 柳沢 豊	常務取締役 経営企画、経理、新規事業、関連事業担当、編成担当補佐、メディア戦略室長

## (7月1日付 執行役員、局長、局次長、部長人事)

発令事項	氏名	現役職	備考
執行役員 営業局長兼ビジネス開発局長とする	力武 史郎	執行役員 営業局長兼事業局長(理事)	

業務部長兼務を解く	馬場 達夫	執行役員 東京支社長(局長相当職) 兼業務部長(理事)	
編成局専任局長とする	藤吉 健児	編成局長兼経営企画担当付(理事)	
理事とする	徳永 浩一	経営企画室長(局長相当職)兼経理局長(副理事)	昇格
理事とする ビジネス開発局専任局長兼ダイレクトメディアビジネス部とする	矢上 尚宏	事業局専任局長兼営業局ダイレクトメディアビジネス部(副理事)	昇格
理事とする	行武 慶和	制作局長(副理事)	昇格
技術局長兼送信技術部長兼ビジネス開発局事業部とする	小野 晃生	技術局長兼送信技術部長兼事業局企画事業部(副理事)	
編成局長兼デジタル編成部長とする	高木 正	制作局次長兼制作部長(副理事)	昇進
ビジネス開発局次長兼ダイレクトメディアビジネス部長兼新規事業本部兼株式会社TVQ九州放送ネクストとする	藤井 晃	営業局次長兼ダイレクトメディアビジネス部長兼新規事業本部(副理事)兼株式会社TVQ九州放送ネクスト	
東京支社次長(局次長相当職)兼業務部長とする	村津 秀則	東京支社次長(局次長相当職)兼営業部長(副理事)	
ビジネス開発局次長とする	足立 志津子	事業局文化事業部長(副理事)	昇進
編成局専任局次長とする	和田 佳子	編成局編成部専任部長(副理事)	昇進
副理事とする 営業局専任局次長とする	中尾 朋樹	営業局業務推進部専任部長(参事)	昇格 昇進
副理事とする 編成局次長兼編成部長とする	五十嵐 千了	編成局編成部長(参事)	昇格 昇進
ビジネス開発局事業部長とする	栗崎 克三	事業局企画事業部長(副理事)	
副理事とする	福本 美佐子	放送審議室審査部長(参事)	昇格
副理事とする	高橋 孝治	技術局送信技術部専任部長(参事)	昇格
総務局総務人事部専任部長兼経営企画室兼広報戦略チームとする	川越 恵美子	総務局総務人事部専任部長兼経営企画室(参事)	
制作局制作部長とする	黒岩 巖	報道スポーツ局報道部専任部長(参事)	
経営企画室部長兼広報戦略チーム兼DX推進チームとする	田口 大輔	経営企画室 次長(部次長相当職)兼広報戦略チーム(参事)	昇進
東京支社営業部長とする	角銅 修司	営業局営業部次長(参事)	昇進

2021年5月21日

関係各位

福岡市博多区住吉二丁目3番1号  
株式会社TVQ九州放送

## 第31期決算について

第31期(2020年4月1日～2021年3月31日)の決算を別紙のとおりお知らせいたします。  
なお、第31期決算の要旨は下記のとおりです。

### 記

当社の当事業年度の売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により放送収入や事業収入が落ち込み、前期比7.0%減の71億7,616万円と、4期連続の減収となりました。

放送収入は、自前で稼いだ広告収入であるプロパー売上が60億6,839万円で、前期比5.4%減少しました。プロパー売上のうち、個々の番組提供に伴うローカルタイム収入は特番の営業強化等により前期比3.7%増と健闘したものの、スポット枠でのCM放送によるスポット収入が輸送・レジャー・飲食業界等の出稿抑制により12.5%減と大幅に減少しました。

イベントなどの事業収入は1億4,401万円で、前期比55.3%減少しました。当年度に予定していたコンサート、美術展、イベントなど20事業のうち、計13事業が新型コロナの影響で中止や延期となったのが主な要因です。

一方、営業費用(売上原価、販売費及び一般管理費)は65億3,112万円で、前期比9.2%減少しました。新型コロナの感染拡大でロケやスタジオ収録を伴う番組制作を一時休止したことで番組制作費が減少したほか、出張費、交通費、交際費、会議費、販売促進費等の一般経費の節減に努めたことなどが主な要因です。

その結果、営業利益は前期比22.9%増の6億4,503万円で、5期ぶりの増益となりました。経常利益は6億9,926万円で同21.2%増、当期純利益は4億8,572万円で同17.5%増と、いずれも増益となりました。

なお、本件に関するお問い合わせは、  
経理部長 丸田 (Tel. 092-262-0027) までお願いいたします。

## 第 31 期 決算

	前事業年度	当事業年度	増減率
	千円	千円	%
売上高	7,717,205	7,176,164	△ 7.0
売上原価	4,052,473	3,580,480	△ 11.6
売上総利益	3,664,732	3,595,683	△ 1.9
販売費及び一般管理費	3,139,833	2,950,646	△ 6.0
営業利益	524,899	645,036	22.9
営業外収益	52,240	54,226	3.8
経常利益	577,139	699,263	21.2
特別利益	320	23,000	7,087.5
特別損失	3,427	9,861	187.7
税引前当期純利益	574,031	712,402	24.1
法人税、住民税及び事業税	173,517	236,377	36.2
法人税等調整額	△12,700	△9,700	—
当期純利益	413,214	485,724	17.5

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

以 上